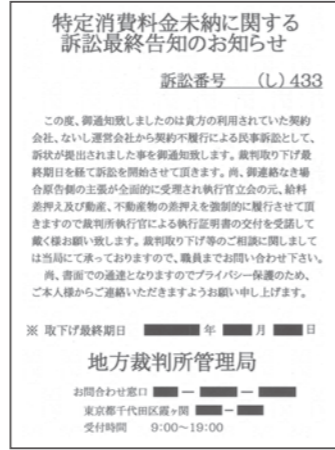




キャッシュカードは渡さない、暗証番号は教えない



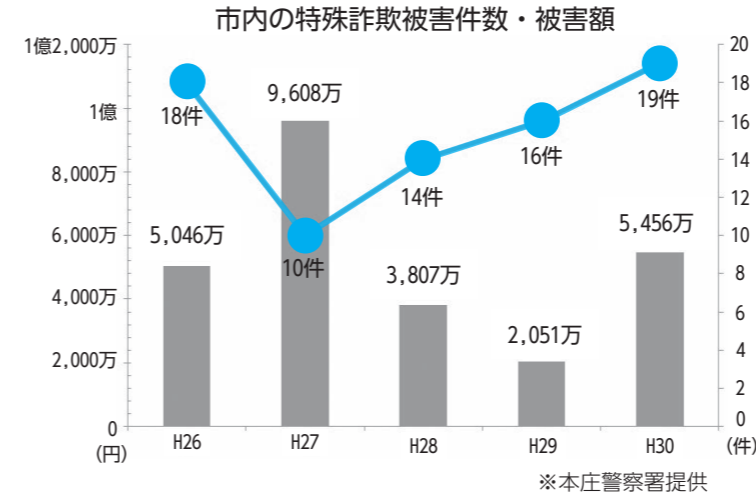
怪しいハガキ、メールには連絡しない

「民事訴訟管理センター」
「国民訴訟通達センター」
「地方裁判所管理局」など
を名乗り、記載された連絡
先に電話をかけてきた方に
支払いを請求します。
ハガキやメールの連絡先
には絶対に電話をかけず、
最寄の警察署に相談してく
ださい。

警察官や金融機関職員、
百貨店社員を装い、キャッ
シュカードをだまし取る、
又はすりかえて盗み取る手
口が増加しています。
「個人情報が出ています」
「あなたのカードが使われ
ている」と嘘を言ってキャ
ッシュカードの暗証番号を
聞き出そうときます。
暗証番号は教えず、警察
署へ連絡してください。

他人事ではない！

大切な財産を 詐欺から守る



増加する特殊詐欺被害
全国で多発している特殊詐欺。
昨年、埼玉県の被害総額は25
億6395万円、被害件数は1
424件でした。
本庄市の昨年の被害額は約5
456万円。被害件数、被害金
額ともに減る傾向にはなく、今
年は7月末までに既に959万
円の被害が発生しています。

今日からできる 特殊詐欺対策

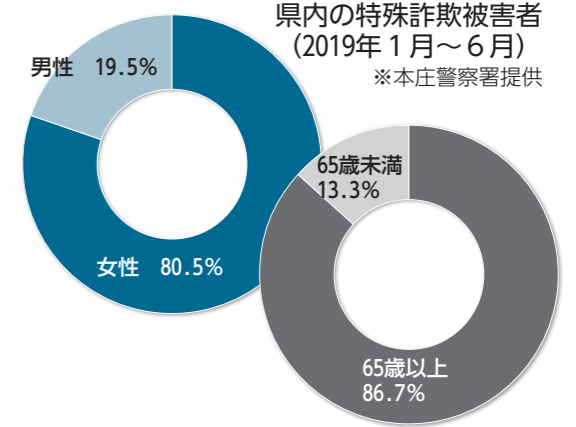
市内では、1月から7月末ま
でに特殊詐欺の犯人からの電話
が427件警察に報告されてい
ます。特殊詐欺の対策に有効な
留守番電話機能を効果的に使い
ましょう。

○留守番電話機能付き・防犯機
能付きの電話を使いましょう
留守番電話機能付きの電話機
に交換しましょう。また「通話
内容を録音する」といった警告
メッセージが流れる防犯機能付
きの電話機も有効です。

○留守番電話を確実にセットし
ましょう
在宅中でも留守番電話をセッ
トし、身に覚えのない番号には
安易にでないようにしましょう。

○電話がきてもすぐに電話にで
ない
電話番号の表示や相手のメッ
セージを最後まで確認してから
折り返し連絡しましょう。

県内被害者の
約86%が65歳以上



今年県内で特殊詐欺の被害に
あった人の約86%が65歳以上
でした。また、男性よりも女性が
被害に多くあっています。
これから年末年始に近づく
と特殊詐欺の電話などが多くなる
ことが予想されます。身近な人
が詐欺の被害にあうかもしれま
せん。詐欺の手口を知り、危機
感を持って心構えをし、予防対
策を行うことが大切です。

これって詐欺？あやしいと思ったら
まずは相談してください

本庄警察署 ☎22-0110
児玉警察署 ☎72-0110



義 援金や寄付金、マイナン
バー制度やオリンピック
等、話題になっている言葉を使
うなど、詐欺の手口は日々巧妙
になっています。電話等でお金
の話が出たら詐欺を疑ってくだ
さい。

特殊詐欺とは
特殊詐欺は、さまざまな手段
で現金を口座に振り込ませよう
とします。
【特殊詐欺の種類】
・オレオレ詐欺
・架空請求詐欺
・融資保証金詐欺
・還付金詐欺
・有価証券等の売買
・宝くじの当せん番号等の特定
の情報提供
・異性との交際のあっせんなど